

## つくば市記者会 御中

発信日：令和2年（2020年）3月19日（木）

発信元：つくば市政策イノベーション部持続可能都市戦略室

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

# 令和2年（2020年）3月19日 持続可能都市宣言を行いました！



本市は平成30年（2018年）2月に発表した「持続可能都市ビジョン」を基に、持続可能なまちづくりを進めており、同年6月に国からSDGs未来都市として選定を受けました。

そのような中、同年3月に市議会で、「つくば市政にSDGsの理念を反映するための取組を求める決議」が全会一致で採択されたことから、市の総合計画に理念を反映すべく、「つくば市未来構想」の改定作業を進めてきたところです。

この度、令和2年（2020年）3月定例会で「つくば市未来構想の変更について」の議案が議決され、これに伴い改訂版「つくば市未来構想」が決定されたことを踏まえ、更なる持続可能都市実現に向けて、持続可能都市宣言を行いました。

### これまでの経緯

|                |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| 平成27年（2015年）9月 | 持続可能な開発目標（SDGs）が国連で採択            |
| 平成30年（2018年）2月 | 持続可能都市ビジョンを公表<br>つくばSDGsフォーラムを開催 |
| 平成30年（2018年）6月 | 内閣府SDGs未来都市に選定                   |
| 平成30年（2018年）9月 | つくば市SDGs未来都市計画を策定                |
| 平成31年（2019年）4月 | つくばSDGsパートナーズ発足                  |
| 令和2年（2020年）3月  | つくば市未来構想改定（SDGsの理念を反映）           |

日時：令和2年（2020年）3月19日（木）

場所：つくば市役所 6階 議場

内容：別紙のとおり、つくば市長 五十嵐 立青が議会で宣言を行った。

# 持続可能都市宣言

名峰筑波山をはじめとする恵み豊かな自然、最先端の科学技術、世界に開かれた多様性などのつくばの資産は、過去からの先人たちの努力により守られ、創られてきました。現在を生きる我々は、敬意と感謝をもって、この資産を未来の世代に継承し発展させていくことが求められます。そして我々は、地域や地球社会が直面する少子高齢化、貧困と格差、気候変動などの課題も克服していく必要があります。

これらは、我々と未来の世代そして世界に共通する使命であり、つながりを力に未来をつくるため、ここに「持続可能都市」を宣言します。

## 1 魅力をみんなで創るまち

市民が中心となり、多様なコミュニティが重なり、顔と顔が見え、人と人がつながり、つくばならではの魅力を高め、世界に示すまちを目指します。

## 1 誰もが自分らしく生きるまち

誰一人取り残されず、一人ひとりの安心が守られ、地域の隅々まで福祉がいきわたり、つくばに集うすべての人が自分らしく生き、自然豊かで幸せがあふれるまちを目指します。

## 1 未来をつくる人が育つまち

自分たちのまちと世界を知り、未来について考え、よりよい未来を次の世代に引き継いでいけるよう、自ら行動する人が育つまちを目指します。

## 1 市民のために科学技術をいかすまち

市民の日々の生活や地球環境をよりよくするため、科学技術の進歩を最大限活用し、課題の解決に貢献するとともに社会にイノベーションを生み出すまちを目指します。

令和2年3月19日

つくば市